

# 天 伯

TEMPAKU

2003.6 No.112

## CONTENTS

ニュース 2

### キャンパス探訪 ⑦

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 3

### 特集

## 「創設期の技科大、現在の技科大」 4

- 豊橋技術科学大学の新たな試み／西永頌 ■ 技科大への思い／神野信郎
- 豊橋技科大と慶應大学湘南藤沢キャンパスの創設に参加して／大岩元
- 技科大創設期からの歩みを振り返って／伊藤健兒
- 最近の高専生と豊橋技科大への進学事情／江崎尚和 ■ 技科大と地域／戸田敏行
- 私の豊橋での3年／李榮泰 ■ 25年を経て／柳田秀記
- 学生時代から今日まで、そして明日へ／滝川浩史
- 知識情報工学系の10余年を振り返って／高橋由雅 ■ “技科大生”／田中三郎

### 連載講座／身近な技術と科学 ⑦

これからのロボット／寺嶋一彦 16

### 学生のページ

■ 新入生歓迎 ■ 海外研修報告 ■ クラブ紹介 ■ 実務訓練報告 ■ 学生による研究室紹介 18

退官教官より 30

新任教官紹介 31

新聞で報道された豊橋技術科学大学 33

技科大の研究 34



## ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL)

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (Venture Business Laboratory) の建物 (写真1,500 m<sup>2</sup>) が完成し、平成15年度より本格的に稼働します。場所はキャンパスの北東に位置し、固体機能デバイス施設に隣接しています。VBLは、大学院の知的活力を活用し、ベンチャービジネスの萌芽ともなるべき独創的、創造的な研究開発を推進するとともに、高度の専門的職業能力を持つ創造的な人材育成を推進し、ベンチャービジネスにつながる研究開発を図ることを目的としています。研究開発テーマは、「機能集積化知能デバイスの開発・研究」を当面中心としますが、さらに幅広いプロジェクトも公募して運営に当たりません。施設概要は下記の通りです。

1階の機能集積化デバイスプロセス室は固体機能デバイス施設と併せて、シリコン集積回路及びMEMS (Micro Electro Mechanical Systems) を作製する設備が整っています。2階には、共同利用研究室 (1)～(3)があり、(1)は微細な加工をするため、塵を極力減らした環境が維持できるように作られて、真空蒸着装置、AFM装置が備えてあります。(2)には窒素ガス、循環冷却水が備えられています。(3)は、分光エリプソメータ、低雑音プローブシステム、分光光度計、超伝導マグネット、蛍光寿命測定装置の評価装置が設置されています。3階は、OAフロアの共同利用研究室 (4)、交流室、研究室などがあります。

